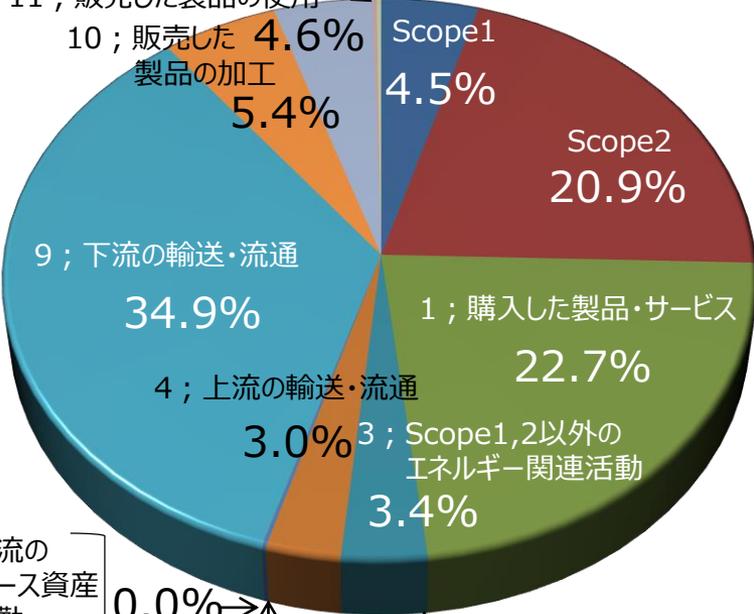


株式会社ニチレイ

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：食品製造業 ● 事業概要：加工食品事業、水産事業、畜産事業、低温物流事業、不動産事業、その他の事業 ● 事業規模[任意]： (売上高) 5,397億円 (2017年3月期) (連結) (従業員) 14,682名 (2017年3月末) (連結)
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み> GHG排出量(Scope1・2); 2018年度末迄に2.3%削減(2015年比) ※国内事業所及び車両所有で使用するエネルギー</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み> ・Scope3の削減目標は未策定 ・バリューチェーン排出量削減についての重要性は認識。</p>

株式会社ニチレイ

項目	内容																																																	
3.基準年のGHGインベントリ [数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 (※割合は必須、グラフを挿入) 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1※： 43,597[tCO₂] 																																																
	<p style="text-align: center;">ニチレイグループGHG排出量[CO₂e-t](2016年度) <Scope1・2・3></p>  <table border="1"> <caption>GHG Emissions Breakdown (2016)</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Description</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>購入した製品・サービス</td><td>22.7%</td></tr> <tr><td>2</td><td>資本財</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>3</td><td>Scope1,2以外のエネルギー関連活動</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>4</td><td>上流の輸送・流通</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>5</td><td>廃棄物</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>6</td><td>出張</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>7</td><td>通勤</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>8</td><td>上流のリース資産</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>9</td><td>下流の輸送・流通</td><td>34.9%</td></tr> <tr><td>10</td><td>販売した製品の加工</td><td>5.4%</td></tr> <tr><td>11</td><td>販売した製品の使用</td><td>4.6%</td></tr> <tr><td>12</td><td>販売した製品の廃棄</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>13</td><td>下流のリース資産</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>Scope1</td><td>Scope 1</td><td>4.5%</td></tr> <tr><td>Scope2</td><td>Scope 2</td><td>20.9%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Description	Percentage	1	購入した製品・サービス	22.7%	2	資本財	0.0%	3	Scope1,2以外のエネルギー関連活動	3.4%	4	上流の輸送・流通	3.0%	5	廃棄物	0.2%	6	出張	0.0%	7	通勤	0.0%	8	上流のリース資産	0.0%	9	下流の輸送・流通	34.9%	10	販売した製品の加工	5.4%	11	販売した製品の使用	4.6%	12	販売した製品の廃棄	0.2%	13	下流のリース資産	0.2%	Scope1	Scope 1	4.5%	Scope2	Scope 2	20.9%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2※： 240,306[tCO₂]
	Category	Description	Percentage																																															
1	購入した製品・サービス	22.7%																																																
2	資本財	0.0%																																																
3	Scope1,2以外のエネルギー関連活動	3.4%																																																
4	上流の輸送・流通	3.0%																																																
5	廃棄物	0.2%																																																
6	出張	0.0%																																																
7	通勤	0.0%																																																
8	上流のリース資産	0.0%																																																
9	下流の輸送・流通	34.9%																																																
10	販売した製品の加工	5.4%																																																
11	販売した製品の使用	4.6%																																																
12	販売した製品の廃棄	0.2%																																																
13	下流のリース資産	0.2%																																																
Scope1	Scope 1	4.5%																																																
Scope2	Scope 2	20.9%																																																
<p>目標の対象セクター： 対象セクターについては削減手法含め、目下検討中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3※※： 678,301[tCO₂] (概算値) 																																																	

※ CDP気候変動(2017)報告値・マーケット基準算定、※※現状把握可能な活動量データをもとに算出した概算値

株式会社ニチレイ

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● 気候変動により、将来原材料調達先(地域)を変更する可能性がある。● 自社やサプライヤーの省エネ活動が推進されることで、生産時や調達時のエネルギーコスト削減につながる可能性がある。また、外部企業評価の向上にも繋がる可能性がある。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● 2018年度に策定する中期・長期環境目標は、SBT目標の要件を参考にする。将来、SBT認定を受けることも視野に入れ、取り進める。

株式会社ニチレイ

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● SBT目標の概要など、当社取締役が出席するグループ環境保全委員会で周知し、社内における理解度向上に努める。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● 今後、目標設定にあたり、SBT目標の範囲を意識すること。● 企業成長と排出量削減の両立。